



# オロチ

火と水への讃歌

—神楽とオーケストラのために—(2010;改訂初演)

平成22年3月17日(水) 開場：午後5時30分～  
開演：午後6時20分～

北広島町千代田運動公園総合体育館 (広島県山県郡北広島町壬生550)

チケット(全席自由席)

平成22年2月1日発売開始!

前売券 1,000円 当日券 1,200円

チケット販売所

テオデオ本店プレイガイド・ひろしま夢ふらざ  
ショッピングセンターサンクス・道の駅舞ロードIC千代田  
北広島町観光協会・北広島町内各公民館・北広島町図書館

第一部 神楽公演「滝夜叉姫」山王神楽団

第二部 「オロチ～火と水への讃歌～」

企画構成、作曲・編曲：伴谷晃二(作曲家・エリザベト音楽大学音楽学部長)

指揮：秋山和麿(広島交響楽団音楽監督・常任指揮者)

神楽演出：石井誠治(NPO法人広島神楽芸術研究所理事)

管弦楽：広島交響楽団

演舞：北広島神楽団

(山王神楽団・東山神楽団・八重西神楽団)

主催：文化庁・広島県・広島県地域文化芸術振興プラン推進協議会「オロチ」北広島町公演実行委員会 (北広島町・北広島町教育委員会・北広島町商工会・北広島町観光協会・NPO法人広島神楽芸術研究所・北広島神楽団)  
後援：中国新聞社・NHK広島放送局・中国放送・テレビ新広島・広島テレビ・広島ホームテレビ

お問い合わせ：北広島町教育委員会生涯学習課 TEL:0826-72-0864

## 企画構成、作曲・編曲 伴谷 晃二



作曲家・エリザベト音楽大学音楽学部長。広島交響楽協会副理事長。「中国・四国の作曲家」会長。「東アジアの現代音楽祭2010 in ヒロシマ」音楽監督。

第2回国際作曲コンクール入選(1992)。ISCM-ACL (国際現代音楽祭—アジア作曲家連盟共催) <World Music Days 2007 Hong Kong>入選。<Music From Japan Festival 2007(アメリカ公演)>入選。2009年度「広島市民賞」受賞。

作品はフランス、アメリカ、フィリピン、韓国、中国、台湾他で度々演奏され好評を博す。近年は、「交響詩、広島・太田川によせる三章」、「余白の風、オーケストラのために」他、NHK交響楽団、東京交響楽団、広島交響楽団、東京フィルハーモニー、京都市交響楽団等によるオーケストラ作品の初演も多い。

「余白の風、オーケストラのために」他、NHK交響楽団、東京交響楽団、広島交響楽団、東京フィルハーモニー、京都市交響楽団等によるオーケストラ作品の初演も多い。

## 指揮 秋山 和慶



故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮して「デビュー」のうち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。

その間、トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース交響楽団音楽監督(現在名誉指揮者)を歴任。

サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モビル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月には紫綬褒章を受章した。

現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、九州交響楽団首席指揮者・ミュージック・アドヴァイザーを務めている。

## 神楽演出 石井 誠治



千代田町(現北広島町)職員として、主に社会教育を担当後、1991年(株)ゼロワンを設立し、同社代表取締役。1993年 郷土芸能「神楽」の舞台芸術をめざした「スーパー神楽 中川戸」広島市アステールプラザ公演の企画・演出を手はじめに、以後10年間この公演を継続。

1999年からは、RCC早春神楽共演大会の企画演出を始め 現在も継続中。

2003年には、広島県文化交流事業としてロシアサンクトペテルブルグ市建都300年祭に広島交響楽団とともに出演した「神楽」の演出を担当。他にも、茨城県牛久市「広島神楽の公演(隔年開催・今年7月18日・4回目)」企画や広島・島根交流 定期神楽公演「月一の舞い」を開催している。2004年にはNPO法人「広島神楽芸術研究所」設立発起人となり、理事を務めるなど、広島県の芸術文化の発展、特に、郷土芸能「神楽」の可能性を求めて、人材育成や研究・企画公演演出等に活躍を続けている。

2004年にはNPO法人「広島神楽芸術研究所」設立発起人となり、理事を務めるなど、広島県の芸術文化の発展、特に、郷土芸能「神楽」の可能性を求めて、人材育成や研究・企画公演演出等に活躍を続けている。



当日は、千代田インターバス停・周辺駐車場よりシャトルバスが随時巡回いたします。

## 北広島神楽団



団長 竹下正彦 (北広島町長)

『新田園文化のまち』宣言・・・北広島町は古くから60団体有余の神楽団が活躍しています。北広島町の神楽は、華麗な舞いと演劇性の高い舞台演出で県内はもとより国内でも広く好評を博しています。伝統的な舞を基本として日々保存・伝承に努めながら、「広島県の舞台芸術・神楽」として新しい舞にも挑戦を続けています。

広島交響楽団とは2003年、ロシア・サンクトペテルブルグ市建都300年祭に日本文化交流公演で初めて出会いました。今回、広島交響楽団とのコラボレーション公演のため、ロシア公演の実績をもとに「北広島

神楽団」を結成し、昨年8月31日に広島公演を成功のうちに終えることができました。これまで神楽を育てた人々に感謝を込めて地元での公演をします。これを機会に、神楽に新しい風が吹き込まれ、未知なる発展を期待しています。

このような機会を与えていただいた文化庁、広島県をはじめ、関係の皆様へ深甚の感謝と敬意を申しあげます。皆さんも“新たに発進した神楽”をお楽しみください。

## 広島交響楽団



中・四国唯一の常設プロオーケストラ 広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。名誉創立指揮者・井上一浩をはじめ、2008年5月からは首席客演指揮者にエヴァルド・ダネル、ヘンリック・シェーファーが就任し、より充実した指揮者陣となった。

日本各地はもとより、ウィーン、ブラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、サンクトペテルブルク、韓国(テグ、ソウル、プサン)などで公演し好評を博す。2007年はプロ改組35周年を記念して自主制作盤レーベル「PEACE RECORD」をスタート。また記念誌「Listen Plus」を発売し、いずれも高い評価を得ている。

現在は年14回の定期演奏会(広島10回・呉・福山・廿日市・島根)や「ディスカバリー・モーツァルト&ハイドン」シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート・巡回コンサートなど年間約130回に及ぶ演奏活動を行っている。2001年度から文化庁より我が国の芸術水準向上の牽引力となる芸術団体への特別支援事業の指定団体となっており、各方面から一層の活躍を期待されている。

## 山王神楽団



明治中期に地元、山本神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足した当神楽団は、昭和25年、神社に奉られている「山王権現」から名を頂き「山王神楽団」となり、現在にいたります。近年においては、ロシアサンクトペテルブルグ市建都300年祭に、千代田混成神楽団の一団として参加し、また、日韓芸能交流公演で、韓国のコリアンファンタジーと共に、国立劇場にて公演を行うなど県外の公演にも力をそそいでおります。練習の都度、あるいは公演の都度「演技の粋をかたむけて」を目標に、今後も芸の習得に取り組み、伝承・保存に努めてまいります。ご支援、ご指導のほど宜しくお願い致します。